

JAL世界の航空会社で初めてリモコン式航空機牽引車を エンブラエル機の出発便プッシュバック作業に導入

～地上作業の省力化と、電動化による脱炭素推進を実現～

日本航空株式会社(JAL)様は、このたび弊社が取り扱う Mototok 社製リモコン式航空機牽引車「Spacer 8600 NG」を、エンブラエル機の出発便におけるプッシュバック作業へ導入されました。これは世界の航空会社として初となる画期的な取り組みであり、航空業界における地上作業の革新と脱炭素化の両立を体現するものです。



Mototok Spacer 8600 NG は、完全電動・リモコン操作式という先進の仕様を備え、従来のトーイングトラクターとは一線を画す存在です。省スペースでの取り回しや高い安全性、即時対応可能な操作性により、作業効率を飛躍的に高めます。また、ゼロエミッションで稼働することから、地上作業の脱炭素化にも大きく寄与します。

JAL 様では、本機の導入により、オペレーターの身体的負担を軽減しつつ、効率的で環境にやさしい地上支援体制を構築されました。今回の取り組みは、同社の持続可能な社会への貢献という企業姿勢と、革新的な技術導入への積極的な姿勢を象徴しています。

弊社は今後も、こうした先進的な取り組みを支える製品とサポートを通じて、航空業界の安全性・効率性・環境性能の向上に貢献してまいります。

JAL 様による公式リリースはこちらよりご覧いただけます：

[【関西】JAL、世界の航空会社で初めてリモコン式航空機牽引車を エンブラエル機の出発便プッシュバック作業に導入](#)